

第 10 回クラブカップ7人リレーオリエンテーリング大会 プログラム

(ドリーム 2005 プロジェクト協賛大会)

期日 : 2002 年 8 月 25 日 (日) 雨天決行、荒天中止

主催 : R.M.O-サービス

共催 : 三河オリエンテーリングクラブ

後援 : 2005 年世界選手権準備委員会

作手村、作手村教育委員会
つくで手作り村

使用地図 : 「龜山城と武家屋敷跡」(2005 年世界選手権トレーニングマップ)

縮尺 1:10,000 等高線間隔 5m 通行可能度表示 4 段階 ISOM2000 に基づき作成

コースプランナー 村越 真

会場 : つくで手作り村 (今夏正式オープンした「道の駅」です)

交通 : 東名高速自動車道「豊川 IC」「菅羽蒲郡 IC」より約 40 分

「岡崎 IC」「豊田 IC」より約 1 時間、くらがり溪谷や本宮山スカイライン北出口を經由して国道 301 号線とぶつかったところが「つくで手作り村」です。主要道も所々狭い山道になりますので、気をつけてお越しください。

大会専用駐車場 : 作手村役場・歴史民俗資料館・開発センター前と鬼久保ふれあい広場指定箇所

案内地図及び大会役員の案内に「したがって下さい。会場まで約 1.5km。会場の駐車場は、「道の駅」の来客用のものです。同乗者の送迎は構いませんが、スペースも限られていますので参加者の駐車は固くお断りいたします。

ごあいさつ

R.M.O-サービス
代表 山川 克則

第 10 回クラブカップリレーに多数のお申し込みをいただきありがとうございます。ことしもまたあの熱い季節がやってきました。2 年前の本大会直前の IOF 総会で 2005 年世界選手権日本誘致が決まりましたが、わが国で最も参加者を集める大会のひとつに成長した本大会も、今回からしばらくは、そのプレイベントの一環としての開催を続けていくこととなります。長野県や山梨県の高原で開催するより暑いですし、日程的にも世界選手権がお盆期間中の開催ですので、それに併せて開催して行くことになり、夏の地元行事などで参加しづらくなる方もいらっしゃるかと思います。ご不便をかけることもあるかと思いますが、何卒趣旨をお汲み取りいただきご理解をいただきたいと思っております。現在、日本を代表する調査リソースがここ三河高原に集結しています。私としても、もっとここでの地図調査に集中したいのですが、まだまだ他の重要な大会もあり、思うに任せない状況が続いております。こんな中、クラブカップに向けた私の限られた資源を、同時に世界選手権準備に向けてのことは、必然の状況となっております。

さて、そのような状況にあっても、この大会の趣旨は大会開始以来変わることなく、皆さんの価値観、取り組み方によって、大会を盛り上げていっていただきたいと思っております。この大会ほど参加者と運営者の区別がつきにくい大会はありません。運営者も参加する、別に運営者が行う必然性のないことは参加者に委ねてしまう、とにかく楽しめることは皆で楽しむ、そうしてこの大会の盛り上がり、2005 年世界選手権への盛り上がり、に合致させていければと思います。私も私なりに、もっと何が自分にできるのか、この大会を通して取り組んで行きたいと思っております。

今回の地図は、そのまま世界選手権に出場する選手のトレーニング地図として使用されます。昨年、米軍から GPS データに意図的に入れられていた誤差が開放され、当方も DGPS (ディファレンシャル GPS) という高価な最新機器を導入しました。これを使用すれば、1 メートル以内で自分の位置が OCAD 上にプロットされる、という優れたものです。今まで、むりやりに歪んだフレームに押し込めていた表現が、本当に判り易く美しい表現に変わる、という変化を実感できる調査でした。今回の地図は、まさにパーフェクトな地図とは何か? という取り組みが始まった地図、ということもいえるものです。(一般にもレンタル開始しています。詳しくは web をごらん下さい / orienteering.com から camap のページです) このトレーニングでの成果が今後の GPS 利用調査の教材となるべく、今回の成果資料は判り易く後世に残しておこうと考えております。そういう地図に加えて、村越真が、なんと十数年ぶりに自らコースを組みました (本人は大会当日、スイスのトレキャンピングに行っていて不在です)。一筋縄では攻略できないコースだと思います。トレーニングしていない人が混じっているチームはまず上位進出は覚束ないでしょう

また、地元作手村には、会場の提供他、ひとかたならぬご理解とご援助をいただいております。感謝にたえません。

このように、今回の大会もできる限りのオリエンテーリングを楽しむ環境、競技環境を用意しました。あとは主役である皆さんが自ら価値を作り盛り上げていってください。作手村でお待ちしております。

今後の予定

第 11 回クラブカップ 2003 年 8 月お盆時期のプレ WOC イベント 3 日間大会の最終日 (日曜) として、作手村で開催予定

第 12 回クラブカップ 2004 年 9 月第 2 日曜 第 9 回で果たせなかった駒ヶ根高原で開催予定

三河高原での、プレ WOC イベントは、この年から改変されるインカレクラシックを併設した新たなエリートイベント創設の予定

第 13 回クラブカップ 2005 年 8 月お盆 世界選手権の併設イベントのひとつとして開催 作手村で開催

大会スケジュール

8月24日 三河大会エキシビジョンレース終了後

競技説明と質問受け付け

ゼッケン及び安全ピン、配布物 e-card 以外 配布

8月25日

7:30~8:20 受付 (前日配布もれ、および e-card 配布)

8:00~8:20 開会式、及びチェンジオーバーデモンストレーション

8:20 オーダー表提出締切り

8:30 クラブカップクラス スタート

8:40 ベテランカップクラス スタート

13:10 第1次リスタート (ウムスタート)

13:30 クラブカップ優勝想定時刻

14:30 第2次リスタート (ウムスタート)

15:30 表彰式

16:10 競技終了

誘導テープについて

競技中のテープ誘導は赤白、立入禁止エリアは青黄テープ誘導、例の見易いSWE製テープです。

リレーイベントですので、ラップの公開サービスは致しませんので、ご了解下さい。

ゼッケン

主催者で用意します。前日の三河大会にて配布します。前日受け取れなかったクラブについては、当日朝受付にて配布します。受け取ったら、中味 (ゼッケン2枚×人数分、メンバー表、注意書き、その他印刷物) を確認してください。ゼッケンは出走時は必ず身体の前後に付けて下さい。

e-card

チームでカードを使い回します。クラブカップは<1, 4, 7走><2, 5走><3, 6走>、ベテランカップは<1, 4走><2走><3走>が同じカードを使い回し、チームで3枚のカードを使い回します。登録情報はカードの裏面にシールで貼ってあります。バックアップラベルにはID情報などは、何も記入されておりません。バックアップラベルの準備は各自で行っていただきます。注意書きを熟読し、カードに貼られた識別IDシールをよく見て間違いの無いようにご準備下さい。リスタートにかかってカードが用意できない場合は再交付しますので、ゴールテントにお越しください。ゴールでのカード回収は、失格と判定された場合以外致しません。e-cardは競技終了後、チームごとに、洗ってから返却所へお返しください。失格と言われた場合の手順は失格判定の自己確認についての項目を熟読しその手続きを行ってください。

安全ピン

ゼッケン用の安全ピンはバラのまま箱に入れておきますので、各自必要分をとって使ってください。使用後は8本1組にして所定の返却箱に返却して下さい。

失格判定の自己確認について

e-cardによる計時が一般的に使用されるようになってきましたが、失格判定に対する調査依頼が、従来通りの感覚だと、運営業務上極めて煩雑な中断を強いられることが問題となってきました。そこで本大会では、前回大会から行っていることをさらに周知徹底していきたいと思えます。

ゴールでのカード読み取りで「失格」とコンピュータに判定された場合、失格専用のハンディプリンタで履歴をプリントアウトしておきます。競技者の方は、通常運営業務中に失格内容の確認を要求することは厳に止めていただきたく思います。通常業務に余裕がでて、その旨のアナウンスが成された後、自分が走った地図とバックアップラベルをお持ちになって、記録紙の履歴やバックアップラベルの正解パターンとの照合を各自で行って下さい。それでも尚納得いかない場合のみ本部に申告して下さい。

大会のコンセプトとして、できるだけ多くの皆がオリエンテーリングを楽しめるよう、極少数の専任役員や選手との兼任役員で運営していますので、通常運営業務に支障を来すような行為がはなはだしい場合、クラブ全体を失格と致しますので、周知徹底をお願いします。

受付 7:30~8:20

- * 前日の開会式で配布物を受け取っていないチームはセルフサービスで受け取ってください。受け取ったら中身 (ゼッケン2×7人分、ゼッケン番号、メンバー表、注意書き) を確認してください。また、e-cardは全てのチームにつき、ここでの配布となります。
- * 大会競技に関する変更事項、重要情報は当日「公式掲示板」に掲示します。参加者は必ず確認してください。

メンバー表の提出 (各クラススタート10分前)

- * エントリー時より変更のないチームも含めて、全てのチームがもう一度正しいメンバー表を提出してください。
- * 用紙に必要な事項を正しく記入し、本部横にあるボードの所定の位置に各チームで貼ってください。

メンバー変更

- * メンバー表提出後は、前走者がラストコントロールを通過した直後まで、次走者の変更が可能です。
- * ボード上の旧メンバー表の上に新たに正しいメンバー表を貼り付けてください。同時にメンバー変更した旨を次走者待機枠の係員に口頭で申告してください。申告忘れや不実の申告をした場合、成績はオープン参加扱いとなります。

開会式およびチェンジオーバーデモンストレーション 8:00~8:20

- * 2005世界選手権の公式プレ大会の第1弾がこの大会です。村長、地元選出県議の方より地元を代表して、ご挨拶をいただきます。
- * チェンジオーバー等の説明を行います。

スタート 8:30/8:40

- * スタート10分前に各チームの第1走者はe-cardの動作確認を済ませ、スタート地点に集合し、ゼッケン番号順に整列してください。
- * 地図を受け取り、裏面のゼッケン番号を確認してください。
- * e-cardが無い人、ゼッケンを体の前後に付けていない人はスタート出来ません。
- * 遅刻スタートはできません。
- * クラブカップのスタートは 8:30、ベテランカップのスタートは 8:40 です。
- * スタートの合図とともに地図を見てください。
- * スタートフラッグは会場より赤白ストリーマ誘導約150mです。スタートフラッグが地図上のスタートマーク()の中心です。一度スタートした者は必ずゴールを通過するか、何等かの方法でe-cardをゴールに提出して下さい。提出されない場合、未帰還者として捜索されます。

ビジュアル区間

- * 今回はコース途上のビジュアル区間はありません。最終コントロールを通過するランナーを確認後、次走者は出走準備をします。

給水

- * 給水所はありません。

チェンジオーバー

- * e-cardが無い人、ゼッケン2枚を体の前後に付けていない人は出走できません。
- * チェンジオーバーは次走者の体の一部にタッチすることで成立します。
- * コールは行いません。前走者はラストコントロールからの誘導で会場内からよく見える所を通るので、次走者は確認後、待機枠に入ってください。待機枠に入る前にe-cardの動作確認を行ってください。
- * 地図はチェンジオーバー後に、チーム用透明ビニール袋から自分のゼッケンナンバーの地図だけを取ります。袋ごとすべて持って行ってはいけません。地図配布場所は、スタートフラッグ直前の左側の斜面です。各チームで十分メンバーに注意してください。スタート前に、チームの地図設置場所を確認できる時間を作ります。
- * 地図の取り違いは他のチームに迷惑がかかります。チーム責任で意識づけを徹底してください。地図を取り間違えたチームは失格となります。

リスタート 13:10/14:30

- * 13:10までにチェンジオーバーできなかった2・3・4・5走者は、リスタートを行います。
- * 14:30までにチェンジオーバーできなかった6・7走者はリスタートを行います。
- * リスタートの時刻は当日の状況によって変更されます。会場でのインフォメーションにご注意ください。
- * リスタートしても、すべてのランナーがコース閉鎖時間までに完走すれば、チームとしては完走扱いになります。チームの所要時間はすべての走区の合計時間となり、順位はこれに基づいて算出されます。

e-cardが間に合わなかったら

- * リスタートまでに使いまわしe-cardの前走者が帰ってこない場合、e-cardの再発行をします。ゼッケンをつけて、ゴールテントまで来て下さい。

表彰式 15:00

- * 表彰式は15:00からの予定です。
- * クラブカップ上位6チーム、ベテランカップ上位3チーム、学生特別上位3チーム、全員制限特別上位3チームを表彰します。
- * 表彰対象の方は15:00に表彰台付近に集まってください。主催者が何度も呼び出さないと集まらないというのは、価値は参加者側にあるという、一貫した大会ポリシーに大きく反します。今回は何度もアナウンスは致しません。所定の時刻になったらすぐ表彰式が始められるよう、クラブ内の優先事項をきちんと処理して下さい。表彰対象不在クラブは、失格にすることがあります。

ゴール閉鎖 16:10

- * ゴール閉鎖時刻は16:00です。競技の途中でも、競技を中止して必ずこの時間までゴールに戻ってきてください。やむを得ず戻れない場合も、何らかの方法でe-cardをゴールに提出してください。
- * ゴール閉鎖までに戻ってこないランナーがいた場合は、チームの責任において本部まで届けるようにしてください。本大会では帰還者の確認はチームの責任とします。

チーム No.	説明
000	クラブカップ招待チーム(水篤刈)
001-079	クラブカップ正規チーム(前回完走チーム)
101-	クラブカップ正規チーム(上記以外)
201-	クラブカップオープンチーム
501-	ベテランカップ正規チーム(前回完走チーム)
551-	ベテランカップ正規チーム(上記以外)
601-	ベテランカップオープンチーム

上位3桁がチーム番号、下位1桁が走順

1234

参加資格について

クラス：

クラブカップクラス：

7人1チームのポイントOLによる男女ミックスリレー
ベテランクラブカップクラス：

4人1チームのポイントOLによるリレー

チーム構成：

次の基準を満たすチームを「正規チーム」とし表彰の対象とする。
それ以外はオープン参加となる（事前エントリーの段階でオープン申告していたチームが当日のメンバー変更によって正規条件を満たしたとしても「正規チーム」の対象とはしない）

<クラブカップクラス>

1. 男女ミックスチームであること。すなわち、チームに必ず女子1名以上含むこと。（後述のように経過措置をとる）
2. 7人とも同一クラブ員であること。
（大学クラブ等で活動を共にしているクラブを含む）
3. 申込期限、様式が守られていること。
4. チーム構成員全員がその日初めてのレースであること。
5. 7人の中に下記の【制限選手】A、B、Cの3人を含むこと。
1人の制限選手が2条件以上を兼ねることは出来ません。
6. チームに入る女子1名は、必ず第5走か第6走のどちらかでないといけない。
（年齢は2003年3月31日現在の満年齢）

【制限選手 A】次のア～エのいずれかの条件を満たす者。

ア. 50歳以上男性 イ. 15歳以下男性
ウ. 30歳以上女性 エ. 20歳以下女性

【制限選手 B】次のア～ウのいずれかの条件を満たす者。

ア. 40歳以上男性 イ. 18歳以下男性 ウ. 女性

【制限選手 C】次のア～ウのいずれかの条件を満たす者。

ア. 35歳以上男性 イ. 20歳以下男性 ウ. 女性

但し、次のような特別ルールを設ける。（二.については、昨年より制限選手の構成が少しくつくなっております。が、これも今回までの経過措置です。来年からは、女子2名以上を原則とし、女子専用走区を設けます。今年のルール6.はその経過措置です。それが適わない場合は、さらにきついハンディをつけることとなります。男女ミックスリレーの基本コンセプトをご理解の上参加いただきたいと思います。もっともって女性やベテランの方を、仲間を誘いあってご参加ください。ここは、いつでも「戻って来れる場所」ですから）

- 一. 女性3名以上の場合は、女性の年齢制限がなくなる。
【制限選手 B】【制限選手 C】共に（ウ. 女性）の条件で出場する場合は、【制限選手 A】において、（オ. 女性）の条件を満たせば良いこととします。つまり、制限選手3名が全員女性であればその年齢は不問とします。
- 二. チームに女性を含まない場合、つまり男性のみのチームの場合【制限選手 C】を使用することができません。【制限選手 A】【制限選手 B】の構成となります。

<特別表彰>

「学生クラブ特別表彰」

クラブカップクラスの要件を満たし、メンバー全員が学部学生である（院生除外、留年生OK）チームの上位3位を表彰します。今まで以上に、学生クラブの方も、強力チームを組んで奮ってご参加ください。

「全員制限特別表彰」

クラブカップクラスの要件を満たし、メンバー全員制限選手であるチームの上位3位を表彰します。メンバーの高齢化が悩みのクラブもこちらで熱い闘いを繰り広げて下さい。

<ベテランクラブカップクラス>

1. 4人とも同一クラブ員であること。
2. 申込期限、様式が守られていること。
3. チーム構成員全員がその日初めてのレースであること。
4. 構成員が、50歳以上の男性、もしくは40歳以上の女性であること。

（年齢は2003年3月31日現在の満年齢）

上記、「全員制限特別表彰」の新設に伴い、このクラスの見直しを考えています。皆様のご意見を聞かせて下さい。

当日メンバー表の「条件」欄に、制限選手3名について、「A-エ」とか「C-ア」とか合致する条件を書いていただくこととなります。本大会の選手登録方法は「自己申告」が大前提となります。

コースの概要について

本年から、3走区間がランニング区間より6走と同様のテクニカル区間に変更となりました。プランナーの村越より原稿をいただいていたのですが、なぜかいつのまにかコード文字化けして読みませんでした。最終的なコース確認を現地で行ってから、当日配布する印刷物でコースに関するコメントを行うことにします。申し訳ありません。

コースの所要は、**実際村越 真選手**が走って、自分で30分、35分、45分に合わせてあります。

青空会場です

芝生広場を中心に、池、花壇、水遊びのできる小川などがありません。木陰は少ないので、各自、日よけ&雨対策を行って下さい。レイアウト図に示す範囲でのテント、タープ等の設営は可能です。女子更衣所テントは用意します。

公式掲示板

プログラム内容からの変更事項、競技に関する重要情報は当日公式掲示板に掲示します。参加者は必ず確認してください。

禁止事項

公園内や会場周辺での野宿。（車泊含む）
水道での靴洗い。公園内の小川で洗ってください。

ゴミは持ち帰り

来た時よりも美しく。ご協力おねがいします。

トイレ

会場公園内にトイレは2ヶ所ありますが、数は非常に少ないです。会場到着前や宿で済ませてくるようにしてください。

会場での地図参照について

2日間同じ地図を使用します。三河大会で使用した地図(但し南部が切り落とされています)は、CC7競技中を含め常時参照してもよいものとします。地図販売はCC7の2次リスタート後にあります。

問い合わせ先

このプログラムが届くころには、山川はすでに作手入りしています。

山川携帯 090-4711-0306

ただし役員宿舎は、docomo 携帯はつながりません。

ピンク電話 作手村青年の家 05363-7-2251 へおかけ下さい。

メール rmos@orienteering.com

もしくは携帯メール、rmo-service@docomo.ne.jp

e-card 使用の留意事項

- * 同じ番号のコントロールを続けて2回以上パンチした場合は、最初のパンチのみが記録されます。パンチに不安がある場合は2回以上パンチしても問題はありません。
- * 途中で間違ったコントロールのパンチが記録されていても正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。したがって間違ったコントロールでパンチした場合でもそのまま正しいコントロールに行きパンチしてください。
- * 3-4-5と行くところ、4を飛ばして5をパンチした場合。そのまま4に戻ってもう一度5をパンチする。
- * 4の次に別のコントロールをパンチした場合。そのまま5をパンチする。
- * バックアップラベルを紛失しても失格とはなりません。が、e-card が適切に働いてなかったときに通過を確認できない場合は失格となります。